

幼児の教育 第114巻 第3号 平成27年7月1日発行 ISSN0289-0836

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考

「自然体験」って何だ？

[シリーズ] 子どもが育つ場所から

「あそんでぼくらは人間になる」

[子ども学探訪] 昔むかしのキンダーブック

『ツバメノウチ』にみる戦前の遊戯作品

夏 2015

第114巻 第3号 日本幼稚園協会

since 1901



ずぼっ

砂場で田植え

子どもの情景

写真

子どもの情景 ①

目次

自然体験とは何か ②

特集

保育現場で気になるコトバ考 6

「自然体験」って何だ？ ④

view 視野

自然が育む子どもと未来―自然とかわる  
健やかな育ちを目指して― 大澤力 ⑤

視点

日々、共にあるものとして 伊東良子 ⑪

保育者にとつての

「自然体験」の意味 室田洋子 ⑮

デンマークの

「森の幼稚園」を訪れて 中村絃子 ⑲

《特集 memo》 23

シリーズ

子どもが育つ場所から

「あそんでぼくらは人間になる」 宮本雄太 24

実践研究

私の保育ノート

甥Yとの小さな冒険 寒河江芳枝 32

育休日誌

母になるということ その2 郡司明子 36

保育エッセイ

子どもは豊かな遊びの世界を生きている ②

あこがれに向かう力 河邊貴子 40

本棚

古典の散歩道

フランスの二人のノーベル賞作家 中村俊直 44

# 目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある  
スタンドグラスの模様をデザイン化したものです。

## 子ども探訪

### 昔むかしのキンダーブック ②

『ツバメノオウチ』にみる戦前の遊戯作品

小栗巨子

50

## 論考

### 保育のクロスロード 保育は素敵な物語 (1)

十年後の手紙 湯澤美紀

56

## 子どもの声

### イベント・メディア情報・

読者投稿・編集後記 他

63

まど

## 自然体験とは何か

「自然体験」を特集した。夏であればやはり、入道雲の下でのセミ取り、海水浴、キャンプ……と自然の懐に抱かれて、子どもたちには思い切り体を動かして遊んでほしい。自然とは程遠くなくなった現代生活の中で、その願いは切実な叫びでもある。考えてみれば、人の体自体がそもそも自然の一環なのだ。なのに、人は自然を操作し尽くせると思い込み、目先の利便性のためにその汚染や破壊を繰り返してきた。今のところはまだ、その偉大なる自然が持つ、循環し「めぐる」力にどうにか助けられてはいる。でも、それもいつまでだろう。人間がその「めぐる」力をあまり軽視すると、取り返しがつかなくなるかもしれない。

自然を体験することで、人はわが身の「分」を知るのでないか。確かに人は弱く小さい存在ではあるけれど、自然というものの大きさをわきまえて付き合えば、これほど美しく、恵み深く、興味の尽きない、包容力の豊かなものはないということを実感し、親しみを感じていく。割り切れない問題に直面しても、きつとどこかに思わぬ解決の糸口があつて、いつか新しい局面が「めぐって」くるものだという樂觀性、忍耐力を、自然体験は人に植え付けてくれるのではないか。(浜口)

## 編集後記

取り立てて、いわゆる「自然豊かな」環境で育ったわけではない。それでも子ども時代の自分にとっては、わが物顔で過ごさせてもらえる外環境があり、その恩恵は計り知れない。大きな顔したって人間なんてちっちゃいんだ。日々危うく命を落としそうになって外で遊ぶ中、地球や宇宙の規模での己の小ささは、子ども心にちゃんとわかっていたように思う。

さて、「自然体験」と聞いてそんな子ども心思い出すと同時に、『子どもたちの時間』の著作もある内山節の『自然と人間の哲学』を思い出した。「自然体験」という語に、どこか人間本位の（あるいは人間優位の）、自然を一方向的に利用するような意図を感じたからかもしれない。子ども（人間）の自然体験を言うなら、自然の人間体験も同時に考えなきゃ、と。

個人的なことになるが、2011年秋以降、東北に顔見知りが増え、具体的な心配やうれしさが増えた。

中でも福島市にはその後何度となく訪れることになり、あの子どうしているかな、あの原っぱはまだ入れないままだろうか、溝で面白いように捕まえてザリガニを今年はかつてのように捕まえて歓声を上げているだろうな、というふうに、人や自然やそのかわりを思い浮かべることが多くなった。人や自然は、それら自体においても両者のかかわりにおいても、その諒解の仕方はおよそ観念的ではあり得ないのではないかと思う。少なくとも、見知った誰かの笑顔や泣き顔を思い浮かべたり、花や草の香やそよぎや手触りを思い出したり、草はらを転げ回る子どもの姿と声がりフレインしたりする、そんな具体的な心配無くして何かを憂いたり批評したりすることはしたくないし、できないなと思う。私の誤解や理解不足も大いにあるかもしれないが、観念的な感傷は多分、誰のことも幸せにしないだろう。(KT)

## 次号予告 幼児の教育 秋号 2015年9月刊行予定

新企画、新連載が好評! 充実した内容でお届けします。

**特集** 保育現場で気になるコトバ考 7  
—「夢中」って何だ?— 星 三和子氏ほか

**シリーズ** 子どもが育つ場所から  
宮城県気仙沼市の幼稚園に行ってきました

**コーナー** 古典の散歩道 第7回 窪寺俊之氏

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 夏号 第114巻 第3号

平成27年7月1日発行  
編集発行人/浜口順子  
編集担当/田中恭子  
発行所/日本幼稚園協会  
〒112-8610  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

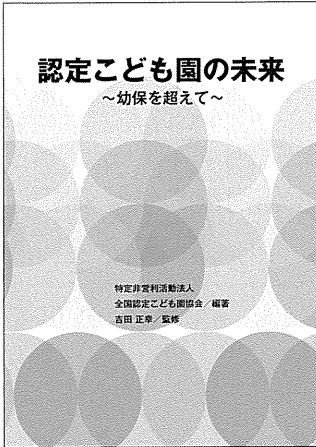
発売所/株式会社フレーベル館  
電話:03-5395-6604(編集)  
振替/00190-2-19640  
印刷所/図書印刷株式会社  
定価/本体834円+税  
©日本幼稚園協会 2015 Printed in Japan

編集委員/伊集院理子  
菊地知子  
高橋陽子  
灰谷知子  
編集協力/フレーベル館

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

# この1冊で“認定こども園”がわかる!

認定こども園について、制度&実践事例をくわしく、わかりやすく紹介。



10942

## 認定こども園の未来 ~幼保を超えて~

厳選された24園の優れた事例と、わが国を代表する研究者・有識者のコメントにより“認定こども園”の未来がわかる。

特定非営利活動法人 全国認定こども園協会 / 編著  
吉田正幸 / 監修

定価 本体2,400円+税  
280ページ 21×15cm

### 特長

- ① 全国から出色の**24**園の事例を紹介
- ② 保育界を代表する**9**名の研究者・有識者が執筆  
(わかりやすい制度解説 / 気になる海外+OECD諸国の動向)

# 指導計画作成の基本がわかる! 実践事例が豊富な公式解説書



29401

## 幼稚園教育指導資料第1集

### 指導計画の作成と保育の展開 (平成25年7月改訂)

幼稚園教育要領を踏まえた指導計画の作成と保育の展開、評価について、具体的な事例とともにまとめて解説。

文部科学省 / 著

定価 本体250円+税 168ページ 30×21cm

#### 指導計画の基本的な理解と実践に役立つ事例を豊富に掲載

指導計画作成の基本的な考え方からはじまり、教育課程・年間指導計画・月案・週案・日案・保育中のエピソードなど豊富な事例により、指導計画の理解と作成・展開に役立つ資料です。

#### 「保育の質」を高める評価・改善につながるポイントを解説

保育の評価・改善の重要性が高まる中で、指導計画の評価・改善の具体的な手順とポイントについても解説。研修で活用することで、保育の質の向上につながります。

論文執筆・発表など、保育研究に必要なルールが1冊に！  
保育に携わるすべての保育者・研究者必携！

# 改訂 保育学研究倫理ガイドブック

— 子どもの幸せを願うすべての保育者と研究者のために —  
— 一般社団法人 日本保育学会 倫理綱領ガイドブック編集委員会 / 編

保育学研究の心得を具体的な事例や用語解説などを用いて、わかりやすく、ていねいに解説します。

保育所や幼稚園など、保育現場の実践者や園にさまざまなかたちでかわり、研究をされている方々にお薦めします。

21×15 cm 96 ページ 定価 1,000 円+税

## ● 内容 ●

### 条文を解説&キーワードで読み解きます

#### 第1部 保育学研究における倫理

1. 保育学研究における倫理とは何か
2. 「日本保育学会倫理綱領」条文解説

### 気になるポイントを1項目450文字程度でコンパクトに解説

#### 第2部 研究成果の発表と倫理

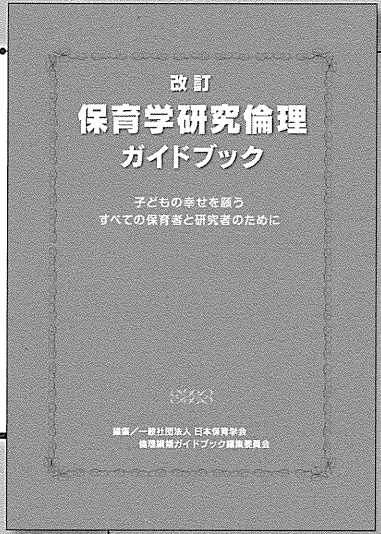
1. 研究成果の公的な場・学会での発表と倫理
2. 研究データ・資料の取り扱い上の問題
3. 引用上の問題
4. オナーシップに関する問題
5. 論文執筆上の問題
6. 学会発表時の問題
7. その他の研究倫理上の問題

### ケースごとに、2つの具体例を紹介

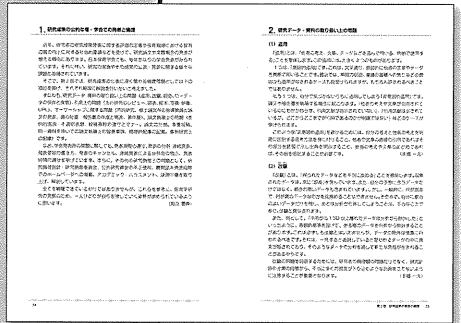
#### 第3部 保育学研究の実施と倫理の事例

1. 保育実践研究の実施における倫理の枠組み
2. 倫理の事例

#### 第4部 倫理の教育



10937



## 内閣府・文部科学省・厚生労働省の公式解説書

MEXT1-1405

幼保連携型認定こども園  
教育・保育要領解説

平成27年2月



34530

幼保連携型認定こども園  
教育・保育要領解説

(平成27年2月)

内閣府・文部科学省・厚生労働省／著

21×15cm 346ページ 定価 本体249円+税

平成26年に告示された『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の内閣府・文部科学省・厚生労働省による公式解説書。オール2色刷。

## おすすめのPOINT

- ①表紙は、人気イラストレーター・かいちとおる先生の絵！
- ②オール2色刷で見やすい！
- ③インデックス付きでわかりやすい！

幼保連携型認定こども園  
教育・保育要領

&lt;平成26年告示&gt;

平成26年11月26日  
所 示  
文部科学省告示第119号  
厚生労働省

34510

幼保連携型認定こども園  
教育・保育要領

(平成26年告示)

平成26年告示の「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の全文を掲載。

フレーベル館／編  
定価 本体150円+税  
21×15cm 32ページ

34520

## おすすめの関連書籍

はじめての  
幼保連携型認定こども園  
教育・保育要領ガイドブック

子ども・子育て会議会長 無藤隆先生による、新法理解のためのガイドブック。

無藤 隆／著  
定価 本体1,000円+税  
26×19cm 128ページ